

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2794000204		
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター豊中少路 認知症対応型共同生活介護 (2階すずらんユニット)		
所在地	大阪府豊中市少路1-4-5		
自己評価作成日	平成23年7月7日	評価結果市町村受理日	平成23年9月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2794000204&amp;SCD=320&amp;PCD=27">http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=2794000204&amp;SCD=320&amp;PCD=27</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター
所在地	〒530-0041 大阪市北区天神橋2丁目4番17号 千代田第1ビル
訪問調査日	平成 23年 8月 5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

拠点の理念を「いつも明るいホーム」と掲げ、①元気な挨拶 ②明るい笑顔 ③楽しい会話 ④寄り添う介護を目標に支援しています。そして日々の散歩の時に会った人々や買い物の際にも①や②で対応して地域の中でのホームもアピールをしています。地域交流も1階のデイサービスと協力体制をとり、保育園児との交流や地域の方々に参加して頂けるイベントも開催しています。又質の高い支援が出来るように、スタッフの研修や指導も目標としています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当該ホームは新しい家やマンションが多い地域の中にあり、利用者と職員は地域の一員として生活を送ることができるように少しずつ取り組んでいます。昨年からは併設のデイサービスと合同で祭りを開催し、バザーやゲームなどを準備し、地域の方を招いて交流する機会を持っています。また、年2回開催している家族会ではより多くの家族に参加して頂けるよう行事と兼ねてビュッフェ方式でデザートを準備し開催したり、運営推進会議の時間帯を家族の希望に合わせて変更するなど、来訪の機会を作り家族との関わりを大切にしています。ホームの様子をビデオ撮影し運営推進会議で参加者に見てもらい、ホームをより知ってもらえるように取り組んでいます。また、看取り支援では利用者や家族の意向に沿いホームで出来る事を見極め、家族の協力の下チームワーク良く取り組んでいます。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

## 自己評価および外部評価結果

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	全スタッフが社内研修で理念の共有を受け、朝礼で唱和しています。事業所の理念も掲げ会議等で落とし込み実践しています。	課題であったホーム独自の理念を話し合って分かり易い言葉で作成し、ホーム会議などで実践に繋がるよう職員に伝えていきます。散歩で出会った方や日々の暮らしの中で明るい笑顔で挨拶が行えているかなど振り返りながら理念に沿った支援に取り組んでいます。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天候が許す限り、毎日散歩に出かけ公園で地域の方とふれあい、買い物も近くのスーパーで毎日しています。地域保育園との交流会も行い、時々近隣のお店でお客様のお茶会もしています。	日々の散歩などの際に、地域の方や近隣のグループホームの方などと挨拶を交わっています。併設のデイサービスと合同でニチイ祭りを地域の方を招いて開催し、バザーやゲームなどを楽しんでもらっています。地域の方にはホームを知って頂いており、地域の一員として生活ができるよう交流を図っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	随時見学希望も受付、電話相談にも丁寧に対応しております。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	毎回ご家族の参加もあり、報告や参加者全員で話し合いを行いサービス向上に活かしています。また前回よりスタッフも順に参加させ、直接感じる事により、サービス向上に繋がると思っています。	運営推進会議は、家族や介護相談員、市の担当者、地域包括支援センター職員等の参加を得て開催しています。各フロアリーダーが利用者の近況報告を行い、その時々議題について意見を出し合っています。出席しやすいように会議の開催時間を変更する提案が出され変更するなど、意見を反映させています。参加できなかった家族には資料や議事録を郵送しています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議の参加していただき意見や指導を頂いています。また相談があれば電話や市役所に行き意見や指導を頂いています。	市の担当者は運営推進会議や地域福祉ネットワーク会議に参加しており、日頃から積極的に関わっています。相談事があれば頻りに役所を訪問し相談に乗って貰っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を設け、研修を行い毎回ホーム会議で活動報告をして、落とし込みをしています。	身体拘束については、会議で話し合ったり身体拘束委員会が全員に資料を配布して勉強会を行い、不参加の職員には会議録を回覧し全員が理解できるよう取り組んでいます。ホームが2階3階に位置し、安全面への配慮から入居時に説明の上施錠していますが、外出したい方には一緒に出掛けたり、気分転換できるよう支援しています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	研修等で全スタッフに指導を行い、丁寧な介護をしています。また小さな事にも気付き報告をするようにも指導しています。スキルの低いスタッフは個人指導もしています。		

ニチイケアセンター豊中少路(2階すずらんユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	管理者・ケアマネジャー・リーダーが研修を受け個々の必要性があれば関係者と話し合い、スタッフにも落とし込んでいく。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には契約書と重要事項説明書をすべて読み、説明を行い、質問にも答え、理解・納得を頂いている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	常時意見や要望があれば承る時間を取り、スタッフに聞き取りを行い話し合いをしている。また日頃からご家族様からの意見を聞けるように対応して運営推進会議では相談や意見を頂いて運営に反映しています。	運営推進会議や年1回の顧客満足度調査、年2回開催する家族会などで意見を聞いています。また、ホームへ来訪時に利用者の様子を伝える中でも意見や要望が無いかを聞き、意見や要望は些細なことから解決するよう努めています。職員の名前が分かるように名札を付けて欲しいとの要望が出されており現在検討しています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ホーム会議等で運営会議の時間を取っている。また日々の中でもスタッフからの意見や提案を聞いて、反映している。	毎月開催するホーム会議や日々業務の中で職員の意見を聞くよう努めています。各委員から意見や提案が出され内容によっては法人へ報告を行い運営に反映できるよう取り組んでいます。又、意見を言い出しにくい職員には個別に意見を聞いて反映することでスタッフの育成にも繋がっています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場環境については、スタッフの要望を出来るかぎり反映させられる様に努めていますが、条件については、一人ひとりの認識の違いや要望の違いが有り難しいです。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受ける機会是与えられています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	事業者連絡会等にも参加して交流をしています。また他の事業所見学もスタッフと共に行き、サービスの質を向上していこうと思っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	見学に来られた段階で相談を受けています。ご入居が決まるとアセスメントを行い要望や不安等の話し合いをしっかりと行い安心して頂けるように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時の暫定介護計画で要望等をニーズに入れ総合的な援助方針としてお客様が早くホームに馴染める様に等を掲げ説明して、納得して頂ける様に安心出来る関係作りに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	15・16の段階より相談や話し合いをして、介護計画も納得して頂いた上でサービスを導入しています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る家事等は一緒にして頂いています。また壁飾りも一緒に楽しみながらつくり、ゲームやトランプも一緒にしています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	お客様の小さな変化にも気付き、ご家族様に報告・相談させて頂き、ご家族様と共に支えていく関係を築いています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様はもちろん、ご友人・ご近所の人・以前のケアマネジャー様の来訪にも明るく対応させて頂いています。また馴染みの医師の往診も対応しております。	友人や近所の知人などの来訪があります。正月に家に帰られる方や手紙を書かれる方に便箋や封筒を準備したり電話でのやり取りを支援しています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お客様の関係を把握して、楽しく過ごせる様に、リビング等の模様替えや、声掛けの支援や寄り添う介護をしています。また寝たきりの方々も体調管理しながら、リビングで過ごす時間を持っていただいています。		

ニチイケアセンター豊中少路(2階すずらんユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご退去者に関してはご家族様の意向を大切に、面会等をしています。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	お客様の日々の声を聞き漏らさないようにスタッフにも指導を行い、カンファレンスで検討しています。また寄り添う介護で会話を大切にして、お客様が話やすい環境を作っています。	入居時に家族やケアマネジャーなどから生活歴など様々な情報を得ています。利用者日々の様子は記録に残し、全職員が目を通して情報を共有しながら、思いの把握に繋がっています。利用者が不穏になられた場合などはその背景にある原因を探りながら思いが汲み取れるよう努めています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前にご家族様にセンター方式に協力していただいています。またご家族様の来訪時には時間を作りアセスメントを出来るように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェックや様子の変化の気付きをしっかりと記録に残し、要観察が必要な時はセンター方式を使用して記録に残し、把握できるようにしています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	変更前の介護計画のモニタリングを行い、カンファレンスでの現状の問題点も検討して新しい介護計画をたてサービス担当会議を行い、家族様に説明を行い意見を聞き、介護計画を作成しています。	アセスメントを基に利用者家族の意向を取り入れた介護計画を作成しています。毎月カンファレンスを開催し計画の達成状況や変更の必要性、利用者ニーズなどについて職員間で話し合い、3ヶ月から5ヶ月の間で介護計画を見直しています。利用者に変化があれば随時カンファレンスを開催し、介護計画を見直しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録には誰が見ても分かるように記録を残すよう指導しています。出来ていない人は個人指導をしています。出勤時には休みの日の記録を確認するようにも指導して情報を共有しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々ニーズに対応して、ご家族様の要望にもこたえられる様に努め支援やサービスを提供しています。		

ニチイケアセンター豊中少路(2階すずらんユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	お客様が安全で豊かな生活を送れる様に、地域の施設と協力体制が取れる様に努めています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族様の意向を尊重し、希望に応じた医療を受けられる様に支援しています。	入居時に以前からのかかりつけ医を継続できることを伝えています。定期受診は個々の方に合わせた往診や家族対応で受診しています。月2回提携医の往診があり、夜間や時間外は提携医へ連絡が可能であり、歯科や皮膚科の往診もあり利用者が必要な医療を受けられるよう体制を整えています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	24時間365日看護師とは連絡が取れる体制を整えています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した場合には、安心して治療できるように、又早期退院の話し合いのために何度も面会を行っています。ホーム提携医とも相談・協力できる体制を構築しています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時にホームの出来ること出来ないことを説明して、ご家族様の希望も聞き出来る限りホームでの生活を継続して頂く為に医療関係者とも連携を図り重度化や週末期に向けたチーム支援をしています。	看取りについては常時医療が必要となった場合には対応が難しい事などを契約時に説明しています。家族の意向を大切に、家族やかかりつけ医の協力を得ながら、訪問看護を利用し支援しています。また、職員の思いも確認の上、その時々で関係者と話し合い、できる限り意向に沿えるよう取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホーム会議等で研修をして、体験者の話も聞いてもらい不安なスタッフには、指導しています。又不安が大きくなるように、管理者・リーダーは24時間電話対応しています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	自衛消防訓練をデイスサービスと合同で年4回開催1回は消防署からの指導も直接受けています。毎回全スタッフに落としこみもしています。	年2回火災訓練を行い、その内の一度は消防署の指導を得て実施しています。夜間の火災については通報の仕方や初期消火の方法などを確認し合っています。又、ホーム独自で年2回震災訓練を行い非常時に備えています。	運営推進会議で、日ごろの取り組み状況について報告するなど議題にして話し合う事から始められ、地域の方の協力が得られるような取り組みへと繋がっていかげでしょうか。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ホーム会議等で頻繁に指導しています。又出来ていないスタッフには個人指導しています。	入職時に言葉使いなど接遇について研修を行っています。ホーム長は職員の理解が深まるように朝礼や申し送り時などに「丁寧な言葉で丁寧な介護を」と伝えていきます。口調が強くなる等不適切な対応があれば、その都度ホーム長が職員に注意を促しています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフからの日々の聞き取りの中でお客様の思いを大切に支援するように指導しています。話し合いも日々の中で頻繁に行っています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを把握して、その人に合った支援に努めています。そして2階の全スタッフが同じ支援が出来る様に指導しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	自立のお客様には声掛け、支援するお客様には出来る限り自己決定して頂く様にしています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	高齢化に伴い出来る事が少なくなっていますが、出来る作業はスタッフと一緒にしていただいています。	献立委員が献立を決めています。時にはチラシを見ながら利用者の希望を聞いて献立に取り入れています。利用者は米とぎや野菜の下処理、食器拭きなど出来る事を一緒に行っています。誕生日には希望食の提供や希望でビールを飲まれる方、月1回皆で弁当を取るなど食事が楽しみとなるよう支援しています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎日記録を確認して、一人ひとりの状態を把握して対応しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の声掛けと支援は徹底しています。又毎週歯科往診をしていただき、指導をもらっています。		



ニチイケアセンター豊中少路(2階すずらんユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄状況を把握して、トイレでの排泄が出来るように支援しています。	過去の記録から個々の方の排泄パターンを把握して、声掛けや誘導を行っています。失敗が少なくなるよう、職員は試行錯誤しながら個々の利用者に合わせて自立支援に向けて取り組んでいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日ヨーグルトやヤクルトを提供しています。一人ひとりの状況も把握して、水分量や運動等の支援をしています。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	入浴は毎日行っています。入浴の希望の確認、声掛けのタイミングも考えながらしています。	入浴は午後3時から5時の間で毎日準備を行い、時間内で希望に沿い、概ね週に3回は入ってもらえるよう支援しています。暑い時期はシャワーのみで済ませられる方や入浴剤を入れられる方など個々の方の好みに合わせて支援しています。入浴を拒まれる方はタイミングを見計らったり声掛けを工夫しながら入って貰えるよう支援しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も必要に応じて臥床の声掛けを行い、希望によりして頂いています。起床や着床も出来る限り希望にそっています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬変更は必ず記録に残し、スタッフは記録確認することを徹底しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の能力や楽しみを把握して、役割や楽しみ事を提供できるように支援しています。又気分転換も工夫をして行っています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日課として散歩をしています。又買い物等にも同行してもらうこともあります。時々近所にお茶を楽しみにいきます。	天候が良ければ日々近所の公園へ散歩に出かけています。日用品やおやつ等の買い物、頼んでいたケーキなどを一緒に取りに行っています。また、気分転換に皆でコーヒーを飲みに出かけたり、春、秋の年2回は貸し切りバスを利用して皆で遠出をする機会を持っています。	



ニチイケアセンター豊中少路(2階すずらんユニット)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いをお預かり管理して希望の日用品等や外出のお茶等に使って頂いています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族様等の電話は随時取り次ぎ、離れての見守りをしています。手紙のやり取りも住所等が記入出来ない事等は支援しています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	心地よい空間となる様に時間に合わせた音楽や壁飾りも折り紙等でお客様と作り上げています。温度調整もお客様に合わせて清潔保持もしています。	リビングの壁には折り紙で作った飾りや利用者が描いた墨絵の作品などが飾られ、行事の写真やその月の行事予定を利用者に思い出して貰えるよう書いて掲示しています。テーブル席は利用者の相性なども考慮しながら気持ちよく過ごして貰えるように配置を工夫したり、室温も冷え過ぎないように利用者に合わせて少し高めの設定をしています。廊下の隅に置かれたソファは利用者が一人になれる場所であったり、風呂上りの一休みなどに利用しています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用空間が狭いですが、ソファを配置し、ゆったりと過ごせる場所や気の合った人たちが楽しめるようにテーブル等の配置をしています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は備え付けのクローゼット以外はお客様の自由に家具等は持ち込んで頂いています。配置も相談にのりながら決めて頂いています。	利用者は居室の窓辺で植物を育てたり、家族と相談して思い出の写真やぬいぐるみ、娘の手芸作品や娘の写真、使い慣れたラジカセや時計など、馴染みの品々を持ち込まれ思い思いに部屋作りがなされています。居室は洋室ですが、生活習慣や好みに合わせて畳を敷いて布団で休むことも可能です。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全な歩行に配慮して、共用空間に家具等を配置して、居室には表札、トイレは「お手洗い」と見分けやすい様にしています。		